

ムダ・ゆがみを正し、県民施策拡充を

すまます県議が討論



2月県議会で日本共産党は、16年度当初予算や国保広域化に関する議案など12件、議員の一時金を増額する議員発議に反対。陳情5件の採択を求めました。

討論に立ったすまます伸子県議は、当初予算について、①広域水道企業団のあまり水への支出や過大な港湾開発など不要不急の予算が含まれていること、②教育予算において、学校と子どもを競争にありたてる「学力テスト体制」、さらに警察官OBの配置を増やし、力で押さえつけ管理する教育が強まること、③医療費公費負担制度など、命に関わる県独自の制度に多くの要望があるにもかかわらず、厳しい財政を理由に背を向け続けていることなど問題点を指摘しました。また、岡山県警察本部の新庁舎の設計変更のための費用について、「後樂園からの景観を認識しながら設計を依頼したのに、なぜ建物が見える設計に仕上がってしまったのか、設計事業者への指示がどうだったのか疑念が残る」と指摘しました。

「沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設を中止し、米軍基地の整理縮小と過剰な基地負担を軽減を求める意見書」「TPP協定の国会批准をしないこと」を求める意見書「養護教諭の配置基準の引き下げ(充実)を求める意見書」などの陳情を採択するよう求めました。

主な議案、発議、請願・陳情に対する採決の結果は左表のとおりです。

議案	共産	自民	民県	公明	無所属	結果
平成28年度一般会計予算	×	○	○	○	○	○
広域水道企業団(余水)への出資	×	○	○	○	○	○
迷惑行為防止条例の改正 (ダンスの規制)	×	○	○	○	○	○
国民健康保険財政安定化基金条例	×	○	○	○	○	○
発議						
議員の一時金引き上げ	×	○	○	○	○	○
× = 反対 ○ = 賛成						
請願・陳情	共産	自民	民県	公明	無所属	結果
辺野古沖新米軍基地建設中止、沖縄県民の基地負担の軽減	○	×	×	×	×	×
医療等に係る消費税問題の解決	○	○	○	○	○	○
介護福祉士養成の充実	○	○	○	○	○	○
精神障害者の交通運賃割引適用を国に求める	○	○	○	○	○	○
TPP協定の国会批准をしないこと	○	×	×	×	×	×
養護教諭の配置基準の引き下げを国に求める	○	×	○	×	×	×
養護教諭の複数配置拡大を	○	×	○	×	×	×
○ = 採択 × = 不採択						

自民党県連事務所賃料に政務調査費

木脇県議がたたす



2月19日の議会運営委員会で森脇ひさき県議は、インターネット・ニュースサイト「My News Japan」が自民党岡山県議団の政務調査費「不正流用」疑惑を報じている問題について質問しました。

報道によると、政党活動等には使ってはならない政務調査費が、自民党岡山県支部連合会(支部代表 加藤勝信・一億総活躍大臣)の事務所賃料や職員給料に使われていた、流用された疑いが濃厚な金額は6年間で5000万円を越すとされています。NPO法人市民オンブズマン岡山が起した裁判で明らかになったとのこと。

自民党岡山県議団に対し真相を報告するよう求めた森脇県議に対し、自民党議員らは、「議運で説明するものではない」「おたくらから不正だと言われる筋合いはない」「議運で発言すること自体間違っている。発言の撤回を求めたい」と発言。森脇県議は、「議員自身が襟を正すという立場でこれまで(政務活動費のあり方について)議論してきた。私が不正があると言っているのではない。県民のみなさんに説明する責任がある」と反論しました。党としての姿勢が問われる問題であり、看過できないのではないのでしょうか。

戦争法廃止へ野党合意

「アベ政治を許さない」野党は共闘を「の声を広げるなかで開かれた野党5党党首会談(2月19日)で、「4つの確認事項」が合意されました。国民の声にこたえた、きわて重要で画期的な合意であり、日本の政治に平和主義、立憲主義、民主主義を取り戻す大きな一歩です。

5野党の「確認事項」

- ① 安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする。
- ② 安倍政権の打倒を目指す。
- ③ 国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む。
- ④ 国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力をおこなう。



ご意見・ご要望、ご感想などお気軽にお寄せください